

## 「浙江大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学法学部2年 (ミロノワ・アンナ)

今回は初めて京都大学の短期留学プログラムに参加しました。留学には以前から興味がありましたが、短期留学は2週間や3週間のプログラムしかなく、期間はあまりにも短すぎるのでこのようなプログラムに参加してもあまり意味ないと思っていました。しかし、浙江大学スプリングスクールを通して、私は2週間でも得ることがたくさんあると実感しました。

短期留学は初めてであったとともに、中国も今回は初めてでした。中国語を勉強し始めて2年、ある程度わかるようにはなりましたが、話すのが苦手でした。中国に行ったら日本語が通じないので、仕方なく中国語で話すことになり会話力が自然に上達すると思って浙江大学スプリングスクールに応募しました。2週間はとても短い期間でしたが、それでも成果はありました。

浙江大学の中国語の授業は、当然ですが、すべて中国語でした。初日はとても緊張しましたが、意外にも聞きとることに問題がありませんでした。それはとても自信になりました。日本にいたときは授業以外には中国語を使う機会があまりなかったので、自分の中国語はどのレベルなのかよくわかっていませんでした。しかし、中国に行ってみたら、自分が思っていたよりも中国を使えたので非常に嬉しかったです。また、私のクラスは京大生が私だけでしたので、最初はとても不安で心細かったが、すぐにいろいろな国の友達ができ、授業が楽しくなりました。クラスの友達と話すときももちろん中国語でした。中国語がとても流暢な彼らに刺激されて、私ももっと頑張らなければならないと実感しました。

朝の授業が終わってから毎日観光を楽しみました。初めて見る中国はとてもきれいでした。特に気に入ったのは西湖でした。とても落ち着いていて、景色が非常に美しかったです。杭州の街並みもきれいで、私が想像したのとはまったく違っていました。

2週間はとても早く過ぎました。ただ確かに言えるのは、一生忘れられない2週間になりました。毎日新しいことを学んで、新しい体験をして、新しい出会いがありました。今回の留学を通して、中国のこともう少し理解できるようになり、もっと好きになりました。将来はこれを生かして中国と関係のある仕事に就きたいと思うようになりました。浙江大学スプリングスクールに参加したのは私にとって非常に大きな経験となりましたので、このプログラムに関わった皆様に心から感謝しています。